

都内のインフルエンザ、再び警報基準を超えました

都内のインフルエンザ定点医療機関からの患者報告数が再度警報基準を超えました。1 シーズンに 2 度、警報基準を超えるのは、1999 年に現行の統計開始以来初めてです。インフルエンザの予防、拡大防止のためには、こまめな手洗い、手指消毒、咳エチケット等の基本的な感染予防策を一人ひとりがこころがける事が重要です。体調管理に十分に気をつけ、感染が疑われる場合には早めに医療機関を受診しましょう。

【全数把握対象疾患】

類型	報告件数	備考
1 類感染症	0 件	
2 類感染症	結核 3 件	20 代 男性 1 名、70 代 男性 1 名、90 代 男性 1 名
3 類感染症	0 件	
4 類感染症	0 件	
5 類感染症	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)2 件 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 件 百日咳 1 件	40 代 男性 2 名 70 代 男性 1 名 20 代 女性 1 名

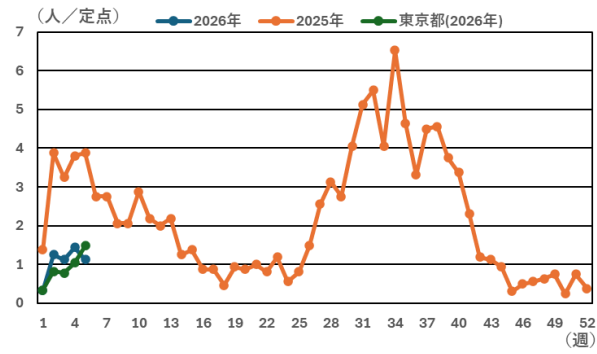
【定点把握対象疾患】

感染症	板橋区	東京都
感染性胃腸炎	定点当たり報告数 14.80 (前週 14.60 前年同週 7.20)	定点当たり報告数 14.91 (前週 13.05 前年同週 8.65)
インフルエンザ	定点当たり報告数 23.75 (前週 10.69 前年同週 3.63)	定点当たり報告数 26.67 (前週 13.83 前年同週 3.79)
新型コロナウイルス感染症	定点当たり報告数 1.13 (前週 1.44 前年同週 3.88)	定点当たり報告数 1.48 (前週 1.04 前年同週 3.70)
急性呼吸器感染症 (ARI)	定点当たり報告数 66.75 (前週 47.00)	定点当たり報告数 79.75 (前週 59.48)

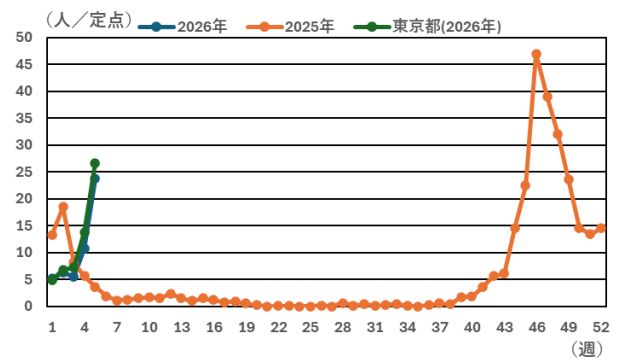
【定点把握対象疾患 推移グラフ】

週報告の定点把握対象の感染症について、定点医療機関当たりの患者報告数推移のグラフを掲載しています。

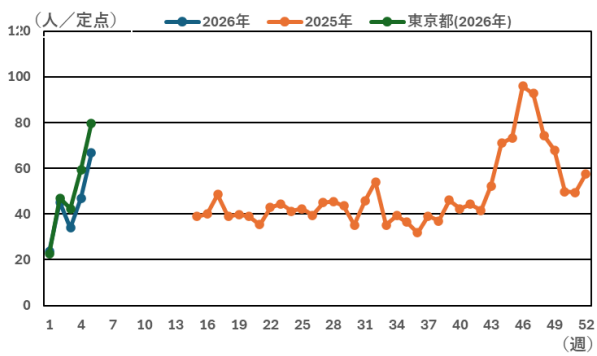
新型コロナウイルス感染症



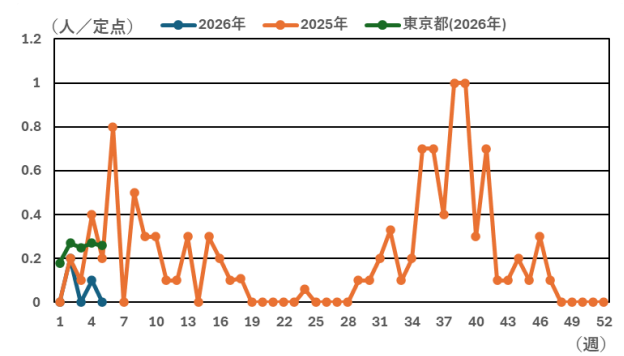
インフルエンザ



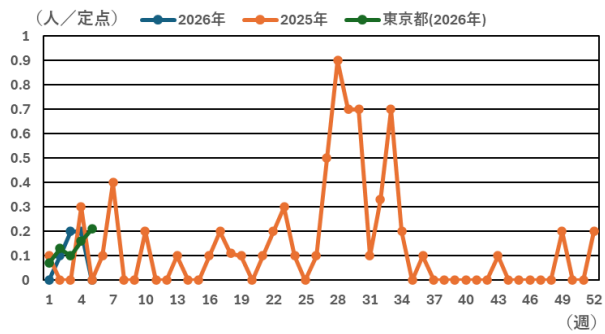
急性呼吸器感染症



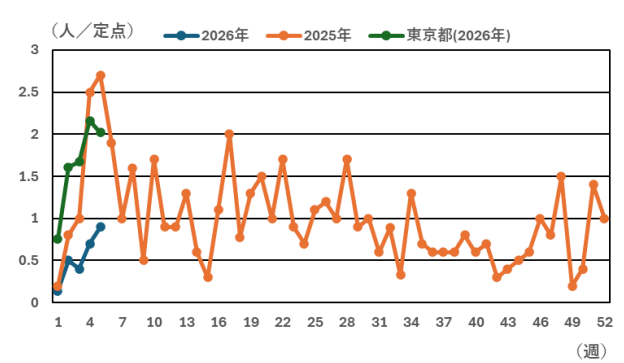
RSウイルス感染症



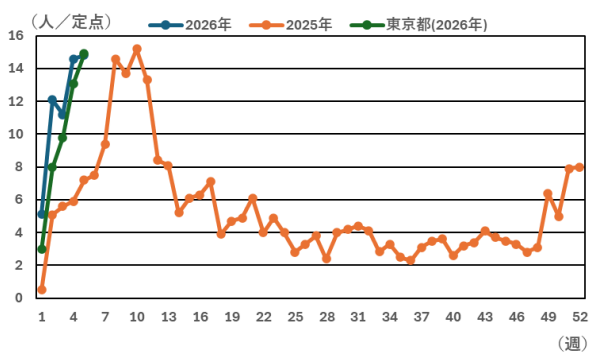
咽頭結膜熱



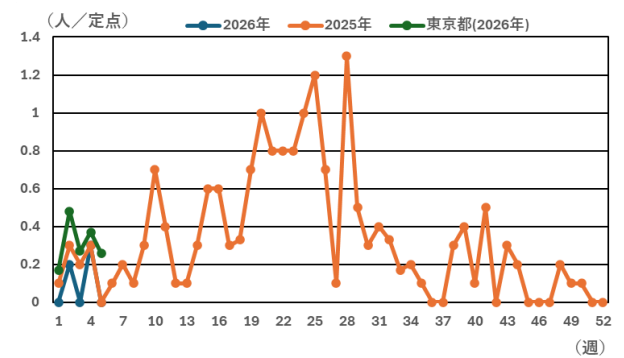
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



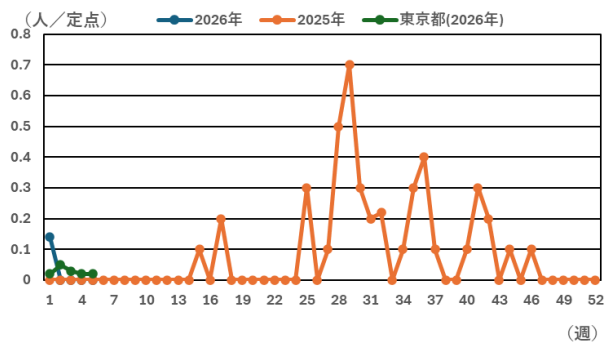
感染性胃腸炎



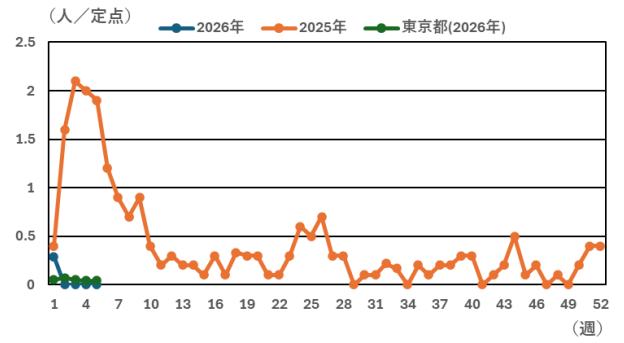
水痘



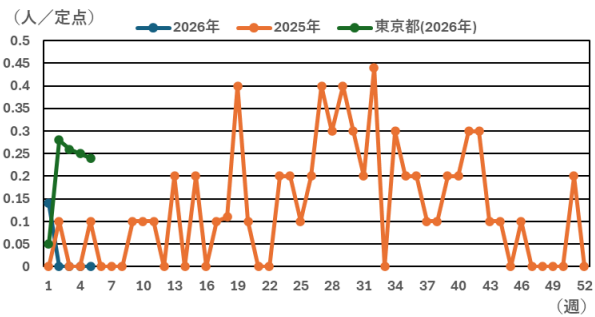
手足口病



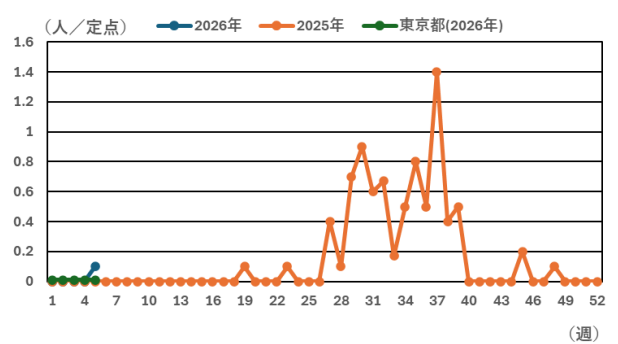
伝染性紅斑



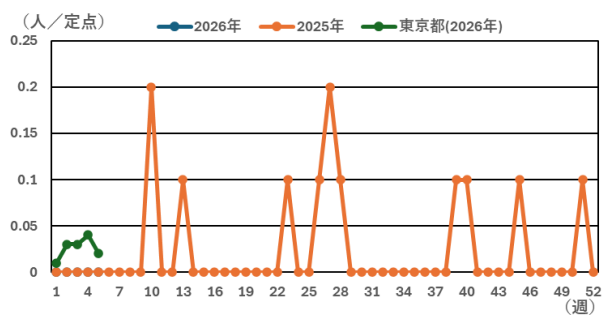
突発性発疹症



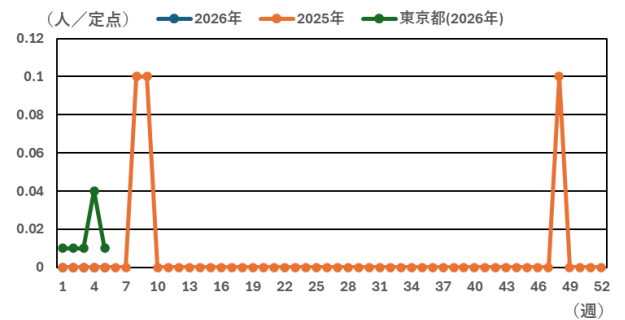
ヘルパンギーナ



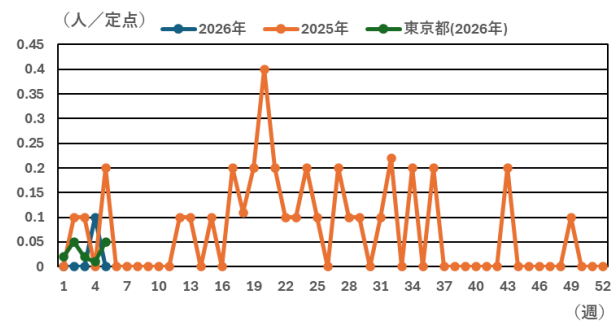
流行性耳下腺炎



川崎病



不明発しん症



【感染症集団発生状況(新規)】

新型コロナウイルス	1 件	高齢者施設 1 件
インフルエンザ	1 件	保育施設 1 件
感染性胃腸炎	1 件	高齢者施設 1 件

※令和 8 年 2 月 6 日現在の情報により作成しています。

※全数把握疾患は発生届を受理した件数です。発生届は、診断した医師が最寄りの保健所（医療機関の管轄保健所）に届け出ることであります。よって、届出数は区内患者数と一致しないことがあります。

※定点あたり報告数とは、1 週間に一つの定点（医療機関）あたり何人の患者の報告があったかを表す数値です。報告数の合計÷定点観測所数＝定点あたり報告数(人/定点)です。流行状況の把握、比較をする場合に有効です。板橋区内では、小児科定点 10 か所、内科定点 6 か所、眼科定点 2 か所、性感染症定点 2 か所、基幹定点 1 か所、疑似症単独定点 2 か所が指定届出機関（定点医療機関）として指定されています。

※令和 5 年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の 5 類感染症に移行しました。同日以降は本報でも定点把握疾患として掲載しています。

※令和 7 年第 15 週から定点把握対象疾患に急性呼吸器感染症（ARI）が追加されました。

板橋区保健所 予防対策課 感染症対策係